

監修・症例写真提供：山口内科 院長 山口泰先生

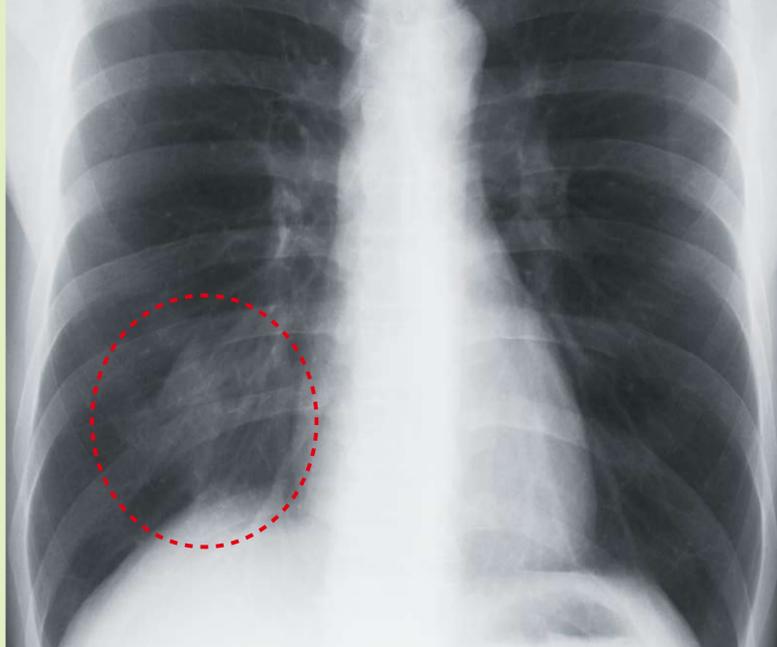
若い人にも起こりやすい2つの 肺炎に注意

肺炎はさまざまな原因で肺に炎症を起こす病気の総称です。症状はかぜに似ていますが、肺炎は症状が長引くことが多く、重症化することもあるため注意が必要です。

細菌感染による肺炎

肺に細菌が入り込み、炎症を引き起こします。かぜをこじらせるなど、ほかの病気で体力や抵抗力が弱まった際にかかりやすくなります。周りの人にはうつりません。

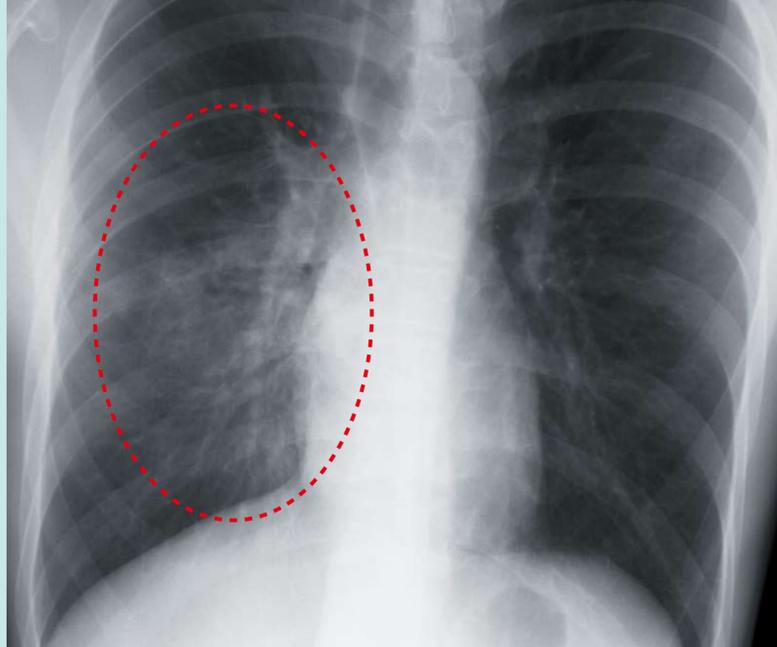
肺の、空気を入れる袋「肺胞」に細菌が入り、化膿して起こる「肺胞性肺炎」の症例。肺炎というと一般的には「肺胞性肺炎」をさします。膿がたまり、むくんでいる肺胞はエックス線が通りにくくなるため、白っぽく写ります。



マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマという病原体に感染して起こります。若い人がかかりやすく、周囲の人にうつる感染症です。症状が軽くすむ場合が多いといわれています。

マイコプラズマに感染し、肺胞と肺胞のすき間「間質」に炎症を起こしているマイコプラズマ肺炎の症例。間質性の肺炎は、レントゲン写真では白いもやのように写ります。



肺炎が疑われる症状

細菌感染で起こる肺炎の特徴

- 黄色や緑色のたんが出る



- 激しいせき
- 熱がなかなか下がらない
- 息切れ
- 食欲がない・体がだるい



マイコプラズマ肺炎の特徴

- たんがほとんど出ない

肺炎が疑われる場合は、速やかに病院を受診しましょう

肺炎を防ぐために…

まずはかぜを予防しましょう



一般的な肺炎は、かぜやインフルエンザをこじらせて起こる場合が多いので、まずはかぜやインフルエンザを予防しましょう。また、かぜやインフルエンザにかかったときは無理をせず、ゆっくり休んで治しましょう。

手洗い・うがいをしましょう

マイコプラズマ肺炎に感染してしまったら…

周囲の人にうつさないよう気をつけましょう

マイコプラズマ肺炎は、だ液などの飛まつから感染します。感染した場合は治るまで登校は控えましょう。また、マスクをつけて周囲への感染を防ぎましょう。

マスクを
しましょう

